

白鳥庭園の管理運営状況

1 基本情報

<所管局：緑政土木局>

指定管理者名	しろとりの杜グループ		
主な業務内容	白鳥庭園の管理運営業務		
施設の所在地	名古屋市熱田区熱田西町2番5号		
評価対象期間	令和7年4月～令和8年3月	指定管理期間	令和5年4月～令和10年3月

2 評価結果

評価項目		評価区分	特記事項
管理体制 及び協働	1 管理体制	職員配置	日比野商店街振興組合や宮宿会、熱田区役所など様々な周辺団体のまちづくり活動に参加した。 白鳥小学校との連携では小学生の作品展示、俳句への参加、茶道クラブサポート等を実施、大学とも連携・協働し、学生の研究・発表の場となった。 また各種ボランティアの活動が庭園の魅力向上に寄与した。
		緊急時の体制	
		人材育成等	
	2 協働	市民等との協働	
維持・管理 運営等	1 維持管理	園内清掃	庭園にふさわしい剪定作業を行った。 松は担当者による管理を行い、剪定実技講習を受講し、質の高い管理を行った。 藤・梅・花菖蒲に関しては徳川園と共同研究・勉強会を実施し管理水準の向上に努め、藤の花付きもよい。 夏の水辺では蓮、睡蓮、花菖蒲に加え、杜若、水葵を植栽した。
		建物・設備の管理	
		保守・点検・修繕	
		植物管理	
		管理水準の維持	
		関係書類の調製・保管	
	2 運営管理	利用者アンケートの実施	松飾りや雪吊りについての説明看板を設置して来園者が庭園に興味を持てる取組みを行った。 正門・北門への園内情報ボードの設置や一輪挿し、季節のお香による出迎えなど細やかな心配りを実施した。 園路から汲江軒へ席入りできるよう枝折戸・飛び石を設置し清羽亭利用者の利便性を高めた。
		利用者ニーズの把握と反映	
		利用者サービス向上策	
		接客・接客向上の取組み	
		苦情・要望に対する適切な処理	
		個人情報の適切な管理	
	3 この施設特有の管理	庭園・茶室の管理	庭園・清羽亭・植物それぞれの専門家をアドバイザーに置き白鳥庭園にふさわしい維持管理を行った。 清羽亭では日本伝統文化の発信の場となる展示を行った。屋外・屋内（清羽亭）ともに歳時に合わせたしつらえを行い、日本の四季を感じさせる取組みを行った。 季節ごとの茶会においては、開香（もんこう）体験を取り入れたり、季節を感じられる野点など内容の充実を図った。
		めざす公園像への取組み	
	4 魅力増進・利用促進	魅力の増進策	「白鳥なごみ塾」では目指す公園像に資する講座を多数実施した。 俳句募集では2,600件を超える応募があった。 ライトアップ期間を利用した新たなイベントを企画・実施し好評であった。 汐入亭（喫茶）では季節感がありSNS映えするメニューを開発・提供し、meetsukete_nagoya決戦グルメ編では第1位を獲得した。
		イベント等の実施	
		利用者への広報・情報提供の実施	
		利用者数の増加	
	5 収納金の処理業務	現金等の取扱い	領収書に¥マーク記入漏れ、内訳の記載漏れ、内訳・消費税の記載誤り、領収印日付間違いがあった。
		関係書類の調製・保管	
自主事業	1 自主事業	事業計画に基づく自主事業の実施	「白鳥なごみ塾」では目指す公園像に資する講座を多数実施した。 俳句募集では2,600件を超える応募があった。 ライトアップ期間を利用した新たなイベントを企画・実施し好評であった。 汐入亭（喫茶）では季節感がありSNS映えするメニューを開発・提供し、meetsukete_nagoya決戦グルメ編では第1位を獲得した。
		集客対策への効果	
		自主事業の収支及び還元	
		便益施設の管理運営	
収支	1 収支	経費節減策	
		年間収支	
その他	1 その他	法令・協定の遵守	
		事業計画との比較分析	

【総合評価】

所管局のコメント・特記事項等
周辺団体のまちづくり活動に積極的に参加し、熱田のまちの盛り上げに寄与した。また、小学校や大学との連携・協働も積極的に行った。 職員のみならず、知識や経験が豊富なボランティアの方々の活動が白鳥庭園の魅力向上に寄与した。 ハード面では、それぞれの分野のアドバイザーの指導のもと植物・施設の適切な維持管理に努め、ソフト面では季節を感じる催事・しつらえを実施し、展示や講座においては、歴史・文化を感じさせるものを取り入れた。 園路から汲江軒へ席入りできるよう枝折戸・飛び石を設置し、清羽亭利用者の利便性を高めるなど施設の改善を実施した。 自主事業においては、新しいイベントや講座を実施し、汐入亭（喫茶）でも新規メニューの開発に力を入れるなど、集客対策への効果は大きい。

施設の現状

白鳥庭園

施設の現状

施設概要							
白鳥庭園は、文化の香り高いまちづくりの一環として昭和58年から整備が進められ、敷地面積約3.7haと市内随一の規模を誇る日本庭園として平成3年4月14日に全面開園したものです。 当園は、池泉廻遊式庭園で、名古屋を中心に中部地方の地形をモチーフにしており、庭園の西南端にある小高い築山を「御嶽山」、そこから流れる川を「木曽川」、川の水が注ぎ込む池を「伊勢湾」に見立て、“水のストーリー”をつくり出しています。 当園の核となる施設としては、汐の満ち干きにより刻々と変化する水景を楽しむ「汐入の庭」があり、汐入亭では、抹茶、コーヒーなどを飲みながら、汐入の庭の眺めを楽しむことができます。							
市の収支状況(千円)（7年度決算見込み額）							
支出			収入				利用料金
指定管理料	その他	計	使用料	その他特定財源	一般財源	計	
104,534	—	104,534	39,300	2,338	62,896	104,534	738
特記事項							
平成18年度から指定管理者制度を導入。							

管理運営指標の状況

取組状況						
指標	単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	
利用者1人あたりの運営費	円	849	797	690	685	
入園者数	人	121,618	137,192	149,397	152,572	
特記事項						

※支出のうち「その他」欄は、経常修繕費を記載